報知ボーイズリーグ　抜群の練習環境 飛躍の春へモ～ダッシュ

▲▲　抜群の練習環境で心身を鍛える北九州中央ナイン

ボーイズリーグ九州ブロックの過去記事やチーム情報、新聞購読や写真購入方法はスポーツ報知西部本社ウェブサイトにも掲載しています。

北九州中央ボーイズ

チーム紹介

北九州中央ボーイズ（北九州）は2014年に創部。公式戦でも使用されている専用グラウンドを始め練習環境の良さが特徴で甲子園球児も輩出した。昨年はゼット旗争奪福岡大会で4強入りと健闘。21年を飛躍の年とするべく、ナインは練習に励んでいる。

屋内練習場併設の専用グラウンド

福岡県内でも随一と言っていいほどの設備を整えているチームだ。北九州市若松区北西部にある本拠地は両翼91㍍、中堅111㍍と広く、照明も備えている。さらに雨天時でもマシンを使った打撃練習やブルペン投球ができる屋内練習場を併設。長原智一監督は「思い切り野球ができる環境が売り」と胸を張る。日隈敏美代表らスタッフは専用グラウンドの整備に加え、保護者の負担軽減にも気を配ったチーム運営に力を注ぐ。遠征による移動面での負担が少ないことに加え、昨年からは保護者の当番制も改善。また選手一律の丸刈りも廃止した。

マンツーマンに近い指導が受けられる。就任3年目の長原監督を始め、8人の指導者がナインをサポートする。中学生は多感な年頃。指揮官は「声を掛けてもらえなかったことをネガティブに捉える子もいる。野球以外の面でも声を掛けるように」と選手との距離の近さを大切にしている。

練習では高校を見据えた体作りに加え、実戦的な知識を身につけることに重点を置く。特に意識するのは走塁の状況判断だ。「走塁は高校でも重きを置くところが多く、高校の監督から『ちゃんとされているね』と言われることもある」と指揮官。グラウンドが広い利点を生かし、冬でも暖かい日には実戦形式の練習で判断力に磨きをかける。

こうした環境で野球を学んだ選手たちは、1年春とは見違える成長を遂げて卒部していく。3年生の川崎陽輝・前主将は「小さくて細かったけど、太く、強くなった。主将を務めてまとめる力とか技術面も上がったし、ここで野球ができて良かった」と感謝する。

長原智一監督

選手権大会予選&ゼット旗争奪4強

14年に3大会で優勝。その後は低空飛行が続いたものの、昨夏は選手権大会予選で4強入りを果たし、36チームが出場したゼット旗争奪でも準決勝に進出と再び上昇カーブを描いた。現陣容はまだ白星を得られていないものの、日々の練習で着実に力をつけている。指揮官は「試合は練習したことを披露する場。一皮むけてほしい」と奮起に期待。輝かしい未来に向かって選手たちは走り続ける。

■選手
▽2年
金城虎之介
三浦翔大
石田煌稀
大庭壮弘
中村仁巧
山中倖大
宮崎和
松下征
柚木逞
▽1年
白石涼
伊東佑真
水流美空
篠原雄斗
藤本惟芳

■スタッフ
▽代表
日隈敏美
▽監督
長原智一
▽コーチ
橋井秀次郎
寺川哲也
多田野信行
川崎新太郎
宮崎隆太郎
柚木亮
▽コーチ兼マネジャー
石田憲司

▶金城虎之介主将「小学で同じ軟式チームだった中村仁君と一緒に体験会に行き、活気があって楽しかったので入部しました。長所は、いつでも元気良くできるところ。一人ひとりをサポートできる主将になりたい。秋の大会は小さなミスが重なって点を取られたので、冬季練習では意識を高くして守備の連係プレーを強化していきたい」

一人ひとりをサポートできる主将に

エース&4番三浦 攻守で支える石田

注目選手

新チームとなった昨秋は4大会に出場したが未勝利。ただ13得点を入れた試合もあり、長原監督は「打撃は去年よりいいし総合的な力はある程度持っている」と悲観していない。また1年生は小倉との合同で予選3位に入り、九州ブロック大会に出場した。

チームの中心はエース右腕で4番の三浦翔大。16㌢と身長は決して高くないものの、下半身が太く速球で勝負できる。投手はほかに技巧派の松下倖征と山中巧が控える。リードする石田煌稀は3番打者として攻守に支える。

打線は1番の松下から石田、三浦に1年生の白石涼へとつないでいく。守備はまだ課題も多いが、遊撃の山中や三塁の金城虎之介主将ら内野陣がしっかり守れば支部大会で上位に進出できる力は十分にある。

三浦翔大

石田煌稀

■チーム情報
▽練習場…北九州中央ボーイズ球場（北九州市若松区有毛）＝火水木土日祝▽部員募集…随時。小学6年～中学2年、女子可▽連絡先…090・3739・9793（日隈代表）、ウェブサイトhttps://www.kitakyushu-chuoh.com/、フェイスブック@kitachuboys